

学位被授与者氏名	嶺 香一郎
論文題目	医療観察制度における多機関・多職種連携に関する研究 ～ケア会議における「生活環境（支援効果）アセスメント指標」の活用について～
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、異なる専門職間の共通言語として「生活機能モデル」が国際的にも推奨されているにもかかわらず、実際には共通言語たり得ていないという問題に焦点を当てている。だが、その問題を立証するにあたり、アセスメント指標の有効性の検証という些か遠回りな手法をとっているため、焦点が定まりにくくなってしまったという課題は否めない。しかし、取り上げられたテーマは、多職種連携が重視される司法福祉あるいは障害者福祉の支援現場においては、重要な点であるにもかかわらず看過されやすい課題であり、問題設定に先見性や独自性が確認された。また、論旨の一貫性や、採用された方法についての適切性も担保されている。</p> <p>得られた結果については、回答者の人数の偏りは見られたものの修士論文としては充分であり、アンケート調査及び質的調査の分析も、先行研究に照らしたうえで、丁寧になされていた。参考文献についても学術的文献および政府刊行物を中心に適切に活用している。以上より、修士論文として高く評価できるものであると判断される。</p> <p>2021年2月19日に、オンライン上で審査委員全員参加のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>